



柿崎 直治

減速経済下における新年度の主要事業への取り組みと景気浮揚対策としての投資的事業は何か

質問

町の財源の要でもある税収の伸びも今日のような経済状況下では到底期待できません。町の限りある財源のなかで今年はどうのような主要事業を行なうつもりか。

またそのなかの投資的経費は住民の福祉向上のためにその支出効果が長期にわたって社会資本の形成に向けられ、将来ストックとして残ることから建設的経費または生産的経費とも言われ、主として住民に対しサービスを提供する事を目的とした建設的経費である。さらにこのような建設事業費は公共事業として地域の景気

荷重14トン・老朽化が進む船沢橋

浮揚対策の一環として歓迎されるものである。これらのごを合わせて町長は新年度どのような考えをもつて事業に取り組んでいくつもりなのか、考えを伺います。

町長答弁

国の三位一体構造改革のなかで、各地方自治体も補助金が削減されつつある今日、いずこも財政調整基金を取り崩し、更にもその基金が無いところは借金をしてやり繰りしているのが実体であります。

湯沢町も人件費等の経常経費で39億円、その他広域関係で6億、他会計拠出金は13億5千万となっております。財政運営が非常に厳しい事態となつてきております。そのため今年度からは、この非常事態を乗り切るため全課一丸となつて行財政改革に取り組み、再点検と検討を行ない、町民の付託に答えていくつもりであります。



古野・中里から中里スキー場・スノーウッドスキー場に通じる船沢橋

に建設積立基金を継続しながら検討していくつもりです。美術館建設に関してはあくまで童画美術館として今後川上家との96点の作品について話し合いをしながら方向を見つけていきたいと思っております。

町長答弁

この危機を乗り越えるためには投資的経費はある程度ひかえなければなりませんし、反面最低限の公共サービス事業は行なわなければならない。これからは補助金の再検討と受益者負担への理解などを着々と進めていき合わせて行財政改革プロジェクトの中で抜本的な対応を考えていきます。指定管理者の制度については民間業者のノウハウを幅広く活用でき、住民サービスの向上と管理経費削減ができる事から歓迎する所です。この制度が上手く運営されるよう検討するつもりであります。

今年度の主要事業についてであります。オーロラプールの手直し、船沢橋については日榮建設との協定もありませんので、今後共協議を重ね是非建設したいと思っております。中学校建設については建築後43年を経過しており、国庫補助の対象となる50年経過をめど

質問

当町における昨今の財政危機の原因は統計的に見ても不況による観光入込みの激減と、それに伴う税収の減が主たる要因である事は疑う余地がありません。この

一

般

質

問